



勝山を観光でもっと元気に！

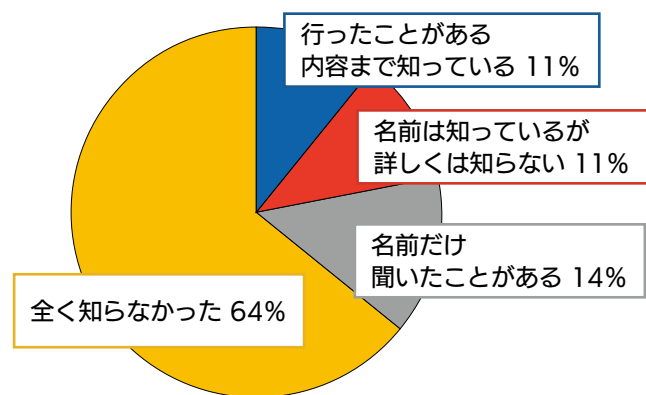
問 勝山市観光まちづくり株式会社 ☎87-1245

勝山の地域経済を活性化させるために活動する勝山DMO(勝山市観光まちづくり株)。

令和2年1月に日本版DMOに登録されて以降、勝山市の認知度向上や観光などを通じた経済波及効果の最大化を目指し活動を行っています。

勝山DMOが事業で得た収益や新しい商機は、地域の課題解決や次の事業へ循環し、好循環を通じて、勝山の経済圏をより熱く盛り上げています。

『福井県勝山市』という名前を知っていますか？ n=601



2025年度勝山DMO実施の調査結果

観光だけじゃない！こんな活動も

イベント開催



ティラノサウルススレース

ブランド推進



勝山 やまのサーモン

自主運営施設



かつやま青果市場

道の駅、かつやま青果市場では出荷者を募集しています。

その他の自主運営施設

- ★道の駅 恐竜渓谷かつやま
- ★ジオターミナル
- ★CAFE MOOI

数字で見る勝山の観光状況

勝山DMOでは、観光消費額や一人当たりの旅行消費額などを指標とし、数値の向上を目指して活動しています。

勝山市内の観光消費額

2025年 105億9,800万円 (目標 100億円)
2024年 99億5,200万円

観光客数が順調に伸び、市内宿泊への需要の高まりを背景に、宿泊者の観光消費額が大幅に増え、観光消費額も着実に増加しています。

実績【目標】	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年
一人当たり旅行消費額(円)	4,542 【3,300】	4,261 【3,400】	5,881 【5,000】	【6,000】	【6,200】	【6,400】
延べ宿泊者数(千人)	100 【84】	129 【99】	138 【130】	【140】	【150】	【155】
来訪者満足度(*1)(%)	76.8 【75.0】	78.5 【78.0】	80.0 【80.0】	【80.0】	【81.0】	【81.0】
住民満足度(*2)(%)	-	79.5	81.5	【82.0】	【83.0】	【83.0】

- *1 勝山DMOが運営する施設で観光客に対して、観光に対する満足度を10段階評価してもらうアンケートを実施
*2 市民を対象に「勝山市は魅力的な観光地であると思いますか」という設問に対する5段階評価のアンケートを実施

森林の力を「環境価値」に 市有林と小原生産森林組合の森林 が『J-クレジット制度』に登録

勝山市が所有する市有林と、小原生産森林組合が管理する森林が、このたび「J-クレジット制度」の森林吸収プロジェクトとして登録されました。

森林を守り、地域の未来へ

J-クレジットの販売によって得られる収益は、森林整備や脱炭素に向けた取り組みなどに活用する予定です。

森林を適切に管理することは、二酸化炭素(CO₂)を吸収するだけでなく、森林資源を守り、地域の環境を未来へ引き継ぐことにもつながります。

勝山市では、豊かな森林資源を守りながら、その「環境価値」を地域の力として活用し、ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みを進めていきます。



詳細はこちら



J-クレジットって？

森林が吸収するCO₂などの量を国が認め、その量(環境に役立つ価値)を企業などに販売できる仕組みです。

木は成長するときにCO₂を吸収します。そのため、国に認められるためには森林をきちんと管理することが必要です。



～地域文化を掘り起こそう～ ⑬

市史編集室 山田 雄造

鹿谷中学校

現在の北部中学校につながる鹿谷中学校の校史はわずか10年間です。その歴史を簡単にたどってみます。昭和22年(1947)5月1日、学校教育法による6・3制実施で、村立鹿谷小学校内に同じく村立鹿谷中学校が開校しました。それまでは鹿谷国民学校と称して、初等科6年、高等科2年の8年間の義務制でした。もっとも、戦時下のためもあり完全実施には至りませんでした。

初年度の鹿谷中学は1年60人、2年59人、3年17人の計136人でした。最も在校生が多かった時は266人を数えました。2年生は高等科1年、3年生は高等科2年修了生が入学しました。23年に3年も2学級となり名実ともに6学級体制となりました。こうして「教育の和衷協同と自主的研究」「正しき民主主義の徹底」「人格の尊重と個の完成」を努力目標に掲げ出発しました。

校舎の歴史をたどります。当時の食料事情が関係しているのでしょうか、24年7月に畜舎・農具室が小学校南校舎東側に附設されます。26年8月に2階建ての独立校舎が完成し、4教室(5間に12間 1間は180センチ)と玄関・廊下が新築されました。27年9月、校舎の増築工事が完了し普通教室4、理科室1、同準備室1、礼法室1が出来ました。

29年の市制施行で勝山市立鹿谷中学校と改称、32年9月30日に北部中学校への統合のため廃校となりました。当初は小学校との同居で校舎も狭く、二部制授業も行われ、新学制の混乱期も重なり教員の兼務、移動も激しく生徒も教員も大変な苦勞をしたと思われます。

